

令和 7 年 2 月 1 9 日

高根地区第 5 回学校運営協議会会議録

本高根地区第 5 回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	令和 7 年 2 月 1 9 日（水）
場 所	高根小中学校 会議室
出 席 者	柳沢、阿部、日野、行成、渡辺、藺部、平井、小坂井、三芳松本
欠 席 者	大澤、河本
審 議 事 項 及び決定事項等	1 令和 6 年度高根小中学校における学校評価の報告及び依頼
会 議 資 料	学校自己評価システムシート
会 議 の 経 過	1 令和 6 年度高根小中学校における学校評価の報告及び依頼 委員：数字だけ見ると、教職員の方が自分に甘いのではないか？ 指導幹：ある学校では、教職員の A 評価が 0%ということがあった。 この数字を見ると「先生は何をやっているんだ？」と思う保護者がいるかもしれない。教職員が A 評価をつけるということはこれだけやっているという自負の現れともとれる。何を持って評価するか基準も示すとよい。 委員：B は 6 割達成。B が多いのは自然な流れ。 委員：先生が一生懸命やっていると答えても、学力が向上していない。もう少し結果が出るものでは。 委員：これは保護者に公開されるのか。保護者はどうとらえるのか。 委員：数字はあまり見ず、改善策などを見るのでは。 委員：保護者の方は、成果を見て判断する。学校評価の数値を、背景まで読み取れるかはわからない。 校長：先生が指導しているからこそ、この水準を保っている。今まで学力の底上げに力を入れたが、成績上位層を伸ばす取り組みも行う。県学調の結果を見ると英語の正答率が特に低い。義務教育学校となり、より専門的な知識をもった後期の教員が、前期の英語の授業も受け持っている。ただ、効果が見られるのは今の 6 年生が 8 年生になった 2 年後であり、速効性のあるものではない。 委員：10 年前からそれは言われていたが、日高塾の取り組み方にも改善点がある。

	委員：後期の先生が前期の授業を教えてくれるのはよいこと。目に見える形で結果がでたらいい。先生自身の授業改善にもつながり7、8年生への指導につながるとよい。 委員：伸びている子の共通点は？ 活かしていけるとよい。 後期教頭：授業の最初に基礎的な事項の定着をしっかりと徹底する時間を確保している。 校長：底上げのための指導は確立している。上位層を伸ばすことが課題。 委員：自主的に考えさせること成果が大運動会などの行事で見えてきた。勉強にもつながるはず。手伝いでも、教えるのではなく考えさせるのが大事。すぐに効果や結果は出なくても。 校長：テスト前に勉強しようという感覚を持って欲しい。 委員：いかにやる気にさせるか。自分の時は、英語は文法ばかりでなかなか使える英語が身につかなかった。ビートルズの歌で英語を学ぶのもよい。 委員：児童会、生徒会の活動を活発に、とあるが、学校運営協議会に子どもたちを参加させるという方向で考えるのはどうか。 校長：今年度はスポーツ協会との会議に子どもが参加した。今後も考えていきたい。 委員：ふるさと科とは？ 後期教頭：地元日高市と絡めながら継続的に9年間指導していく。 指導幹：これまで地域学校協働本部の方々がいろいろなことをしてくれた。これを体系的に整えて学んでいく。 委員：ふるさとを大切にすることはよい。 校長：校外行事もふるさと科と絡めて計画している。 前期教頭：教職員も日高を知る必要がある。 委員：PTA との協力、教職員の評価が高くないか。 指導幹：宣伝活動が足りない。市としても課題。 委員：保護者が学校に意見を言うことを遠慮しているときく。 後期教頭：PTA の組織も検討していく。 委員：地域と学校をつなぐ場所も確保しないといけない。 委員：英語の活動について、ボランティアをしたいという方もいる。放課後に何か活動を検討しているか。 指導幹：地域活動共同本部として活動ができるのでは。 委員：何か協力できることがあれば。 委員：後期課程にはヤングケアラーがいるのか。
--	--

	後期教頭：後期課程で行ったアンケートでは本人が答えた例はなかった。 前期教頭：本人の自覚はないが、家庭の状況を聞くとそれに近い児童はいる。 校長：お手伝いとヤングケアラーの線引きが難しい。 委員：テレビ等で報道されるような大きいものではなくても、予備軍はいる。 校長：喫煙、飲酒の事例があった。中央公園を気にかけてもらえると、学校で指導できる。 委員：ローソンの脇もたまり場になっている。PTA がパトロールをしたこともあった。 後期教頭：2月28日までに学校評価に対するご意見をおねがいしたい。
--	---